令和 7 年度

特別の教育課程の実施状況及び評価等について

つくばみらい市立陽光台小学校

1 特別の教育課程の内容

（1）特別の教育課程を編成・実施する学校

つくばみらい市立陽光台小学校

（2）特別の教育課程の概要

「グローバル人財」の育成を目指し、急速に進展するグローバル化に対応することができる人材を育成するため、小学校 1年生～2年生において、生活科の 35 時間分（1年生は 34 時間分）を設定する。「英語活動」においては、つくばみらい市独自に配置している外国語指導助手（ALT)との 交流の機会を多く設け、体験的な活動をとおして外国語や異文化を理解し、自他の文化や価値を尊重することができるグローバルな視野や態度の素地を育む学習を行う。

（3）学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

つくばみらい市では、保幼小中において連続性のある教育を推進し、市内の民間施設を含む保育所・幼稚園・認定こども園で、ＡＬＴとの英語での交流機会を設けたり、英語を用いた遊びなどを積極的に取り入れたりしている。保幼小中の連携を図るために、就学前の学びを小学校入学後においても継続する必要性があり、特別の教育課程を編成する必要がある。

（4）特例の適用開始日

令和6年4月

（5）取組の期間

令和8年3月 31 日まで

2 特別の教育課程の編成・実施計画に基づく実施状況

・計画通り実施できている

・一部、計画通り実施できていない

・ほとんど計画通り実施できていない

3 特別の教育課程に基づく教育の実施状況に関する自己評価結果

（1）第1学年児童による評価

① 英語活動の勉強は好きですか

	割合（%）
とても好き	63.5
好き	23.8
ふつう	10.3

あまり好きではない	2.4

② ALT の先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合（%）
とても楽しい	62.7
楽しい	28.6
ふつう	7.9
あまり楽しくない	0.8

③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合（%）
とても話せるようになりたい	67.5
話せるようになりたい	22.2
あまり話せるようになりたくない	8.7
話せるようになりたくない	1.6

④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合（%）
とても知りたい	65.1
知りたい	28.6
あまり知りたくない	4.8
知りたくない	1.6

（2）第２学年児童による評価

① 英語活動の勉強は好きですか

	割合（%）
とても好き	46.7
好き	29.2
ふつう	16.9
あまり好きではない	7.2

② ALT の先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合（%）
とても楽しい	43.1
楽しい	34.9

ふつう	16.9
あまり楽しくない	5.1

③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合（%）
とても話せるようになりたい	56.9
話せるようになりたい	35.9
あまり話せるようになりたくない	3.6
話せるようになりたくない	3.6

④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合（%）
とても知りたい	44.6
知りたい	41.5
あまり知りたくない	10.3
知りたくない	3.6

（3）保護者による評価

① 小学校 1 年生から外国語教育に取り組むことは、良いと思いますか。

	割合（%）
とてもそう思う	75.6
そう思う	22.0
あまりそう思わない	1.2
思わない	0

② お子様は、外国語教育の時間を楽しみにしていますか。

	割合（%）
とても楽しみにしている	43.1
楽しみにしている	42.5
あまり楽しみにしていない	1.8
楽しみにしていない	0

③　小学校１年生から外国語教育に取り組んでいることで、お子様が英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思いますか。

	割合（%）
とても増えていると思う	32.7
増えていると思う	14.9
あまり増えていると思わない	2.4
思わない	0

④　小学校１年生から外国語教育に取り組むことは、グローバルな視野を身に付けることにつながると思いますか。

	割合（%）
とてもそう思う	46.7
そう思う	48.5
あまりそう思わない	3.6
思わない	2

⑤　小学校１年生から外国語教育に取り組むことで、お子様にどんな力がついていると思いますか。

	割合（%）
積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度	17.0
英語を聞く力	30.9
英語を話す力	15.7
異文化への理解	23.0
相手に配慮する態度	0.9

（４）学校関係者（教職員）による評価

①　小学校１年生から外国語教育に取り組んでいることはよい。

	割合（%）
大いにあてはまる	42.9
あてはまる	57.1
あてはまらない	0
全くあてはまらない	0

②　小学校１年生から外国語教育に取り組んでいることで、児童が英語を繰り返し学ぶ機会が増えている。

	割合（%）
大いにあてはまる	47.6
あてはまる	52.4
あてはまらない	0
全くあてはまらない	0

4　実施の成果と今後の課題

（1）成果

・小学校 1 年生から英語を学ぶことで、英語そのものへの興味だけでなく、外国の文化や価値観に触れる機会が増え、異文化への理解や関心をより深めることができた。

・小学校 1 年生という早い段階から英語に親しむことで、正しい発音やリスニングスキルを自然に身に付けることができ、将来の英語学習において大きな基礎となった。

・英語学習を通して「わかった」「できた」という学ぶ楽しさや成功体験を積み重ねることができ、その経験が自信となり、将来的な学習意欲の向上や学業成績の伸びにつながることが期待される。

（2）今後の課題

・体験的な学習を積極的に取り入れることで、日常生活の中で英語を実際に使える喜びや、自分の言葉が相手に伝わったという達成感を、これまで以上に味わえるようにしていきたい。

・学習の中で「できるようになったこと」や「成長したと感じられること」、さらには自分で考えたり感じたりしたことをしっかり振り返る時間を確保し、その方法にも工夫を凝らすことで、学びをより深めていきたい。